

受付 番号	12	受付 月日	令和7年2月12日 午後7時15分（メール）
----------	----	----------	---------------------------

東郷町議会議長 加藤 宏明 殿

東郷町議会議員

議席番号9 番 氏名 こう田さとみ

一 般 質 問 通 告 書

東郷町議会会議規則第59条第2項の規定により、次の事項について質問（一問一答方式・一括質問方式）したいので通告します。

記

No. 3 - 1

質問事項	質問要旨	答弁者
1 コミュニティースクールの機能について	(1) それぞれの学校での活動の現況はどのようなか。 (2) 地域学校協働活動推進員の配置について ア 推進員の役割と具体的な活動内容はどのような内容か。 イ 配置されることにより解消されるべく課題や今後の機能として期待できることは何か。	町長 教育長 担当部長
2 不登校児童生徒並びに学びの多様化への対応について	(1) 「校内教育支援センター」の試行的導入について ア 試行的実施におけるセンターの概要について (ア) 理念と機能は。(どのような理念に基づき、何を着地点としてどう機能していくことを目指すのか。) (イ) 開設の時期とそれにあたっての児童生徒並びに保護者（小学校6年生を含む）への周知法方は。 (ウ) 利用にあたっての開設時間、給食の有無、部活動への参加、制服の着用への対応は。 イ センターの環境整備について (ア) 中学校内の現在のこういったスペースを利用する予定か。(3中学校それぞれについて) (イ) 設置する備品や配置等、どのようにスペースの環境を整えるか。 (ウ) 登校から入室にあたっての経路への配慮は。	町長 教育長 担当部長

質問事項	質問要旨	答弁者
	ウ 運営における人的措置について (ア) 配置体制（担任、支援員、利用人数によっては副担任等）への考えは。 (イ) 指導員に求める条件（資格、経験、教育理念等）はどのようで、採用にあたっての適正の判断は誰がどのように行うか。 (ウ) SC、SSW、心の相談員、養護教諭、通常学級の担任、教科担任との関わり・連携はどのように図られるか。 エ 活動内容について (ア) どのような教育課程編成を行い進めるか。 (イ) 個別支援計画の構築や扱いについての考えは。 (ウ) 学習保障における方策は。（タブレット教材の活用やオンライン授業等） オ 保護者への対応について (ア) 保護者との相談体制はどのように図るか。 (イ) 連携・情報共有をどのように行うか。 カ 外部機関との連携について (ア) ハートフル東郷との連携は。 (イ) 民間施設等（フリースクール、オルタナティブスクール、療育支援機関等）、特別支援学校、発達支援センター、医療機関との連携への考えは。 キ 今後について (ア) 試行期間を通じてどのように課題を抽出し、より良い支援・対策の実践に繋げるか。（アンケート調査の実施、実践のフィードバックと検証の仕組み等） (2) 不登校児童生徒の健康リスクへの対応について ア 学校での集団健診が受診できていない児童生徒の人数は把握しているか。 イ 未受診の児童生徒への対応はどのようにされているか。 ウ 校外のかかりつけ医等での個別受診への助成等、健診機会の確保についての考えは。	

質問事項	質問要旨	答弁者
	(3) 「中 1 ギャップ」における対策について ア 現在持っている認識はどのようで、予防措置としての何だかの対応は取られているか。 イ 不安解消の方策として、中学校 S C による小学校への訪問交流や相談体制の連携を図ることについての考えは。 (4) 子どもたちの多様な学びの選択における対応について ア フリースクール、オルタナティブスクール等に通う児童生徒への就学金助成への考えは。 イ フリースクール、オルタナティブスクール、ICT 教材を活用しての自宅学習における出席認定の現状と考えは。 ウ 安心できる個別最適化された学びの場の創設として本町での「学びの多様化学校」（分教室含む）創設やイエナプラン導入の取組への考えは。	

（注）要旨は、具体的に記載すること。